

実務経験のある教員等による授業科目一覧表（通信教育部 文学部 文化財歴史学科）

	科目名	単位数	授業方法	2026年度担当教員	概要	特記事項
1	人間論Ⅱ	2	テキスト	磯部 美也子 林 郷子 今井 由樹子	人間は一人では生きていけない。お互いが傷つけ合うことなく、それぞれの個性を発揮していけること、それが人間らしく生きる上で大切なことだといえる。それを実現するために提案された概念が『アサーション』とよばれるものである。相手を傷つけることなく、自己を正当に主張できること、それが『アサーション』の基本的な考え方である。そのためには、一人一人が自分自身をよくみつめることが重要だと説く。本講義では、『アサーション』についてわかりやすく解説したテキストを用いて、担当者がカウンセラー等として心理支援に携わってきた経験を踏まえつつ、この概念の基本的な考え方について学習指導する。	
2	健康論	2	テキスト	島本 太香子	現代社会で私たちが目指すのは、ただ寿命を伸ばすだけではなく、「健康寿命」を延ばし、よりよく（ウェルビーイングに）生きることである。今を生きる私たちの健康とウェルビーイングの課題は、現代社会の中で新しく生まれ、変遷している。コロナ禍にみるグローバル化と感染症対策など社会の動きと連動した課題、新たな医療とその選択など科学技術の進展から生まれる課題、現代社会の生活のしかたや災害、天候と関連した課題、老化や長寿社会に関わる課題など、健康とウェルビーイングの課題とその対処方策について、私たちは常に最新の情報を正確に把握し、自ら判断して行動する必要がある。このような視点からこの授業は、テキストの『50のキーワードで読み解く健康科学』を通して、現代社会の多様な健康問題について、キーワードをてがかりに科学的視点から学んでいくものである。学びを進める際のポイントは以下である。 1 ミクロの世界から、社会全体まで、幅広い学問領域の視点から学ぶ 2 健康を多角的にとらえる 3 ライフステージを通じた健康の課題を知り、自らのライフキャリアとの関連を認識する 4 健康と社会との関わりを意識する 本科目は、科学の立場から、健康をとらえようとしたものであるが、学びを進めることで、科学が哲学や人間としての生き方と、近いものであることに気付かれることを期待する。 本科目は、担当者が、医師として臨床現場に携った経験を踏まえつつ、最新情報を取り入れながら、科学的根拠に基づいた情報から健康を多角的にとらえることを目標に学習指導する。	
3	考古学概論	4	テキスト	山下 隆次	本来、「考古学概論」というのは、「考古学」それ自体の成り立ち、その目的、方法などを学ぶものである。ただこの授業では、少しでもこの「考古学概論」を興味深く学んでいただけるように、考古学の目的や方法だけではなく、あわせて考古学の研究が日本の歴史をどのように明らかにしているのかを学ぶことによって、考古学の目的や方法を具体的に理解してもらうことにしている。したがって、この講義は「考古学概論」と「日本考古学概説」を合わせたものと考えてよいだろう。 本科目は、担当者が自治体の教育委員会文化財保護担当として、文化財行政に携わった経験を踏まえつつ、学習指導する。	
4	史学講読Ⅱ	2	スクーリング	奥本 武裕	私たちが暮らす地域社会の行政上の枠組みは、時代の変化にともなって度重なる変遷を経てきた。明治21年（1888）に成立した市制・町村制による町村合併もそのひとつである。市制・町村制の施行によって成立した市町村は、近代から現代にいたる地方自治体の原型となった。そして、町村合併は単なる地方行政上の枠組みの変化ではなく、人びとの暮らしや心性に基づく対応と密接に関わって成立したものである。それらをふまえ、明治期の町村合併に関わる史料を読み解きながら、地域社会やそこに暮らす人びとについて考えていきたい。本科目では、担当者が20年以上にわたって自治体で行ってきた史料調査とその解説・分析の経験を活かして講義を行う。	
5	文化財学演習Ⅱ	2	スクーリング	岩戸 晶子	文化財学演習Ⅱは考古学の手法を基に卒業論文をまとめるための力をつける基礎演習である。講義と実習を織り交ぜながら、受講生自身それぞれが自分の関心のある分野を探し、さらにそれについて調べていく楽しさを身につけていく。 1日目には、考古学がどのような学問であるか調査方法や基礎的な考え方を学び、その後、実際に論文作成に至る過程を解説する。2日目には、フィールドで考古学や文化財の意義を考える機会を経て、実際に論文作成に不可欠な文献調査や遺物の観察・記録を実習として実施する。3日目には、各自の関心のあるテーマに関して、1日目・2日目の学習を通じて学んだこと、新たに実習で調査・研究した成果を加味して、ポスターにまとめ、発表を行う。 本科目は、担当者が奈良国立博物館、奈良文化財研究所での調査・研究、文化財の活用等に携わった経験を活かして講義を行う。	
6	考古学特殊講義	2	スクーリング	相原 嘉之	飛鳥には宮殿・寺院・古墳など、様々な種類の遺跡がある。いずれも国家形成の過程を示す重要な遺跡群で、これらを理解することにより、「日本国」誕生の歴史が解明できる。授業では、飛鳥を題材に、国家形成過程についての講義を行う。 本科目では、担当者が奈良文化財研究所、滋賀県・明日香村の調査機関・文化財保護行政に携わった経験を活かして講義を行う。	
7	仏教考古学	2	スクーリング	狭川 真一	私たちの周囲には仏教的な資料が溢れている。その中で最も身近に存在する寺院と墓を中心にテーマを設定し、授業を行う。寺院関係では寺の建物配置（伽藍配置）について解説した後、平城京内に配置された寺院について考える。また寺院関連事項として古代における仏塔の存在意義は大きく、その種類や構造について概説する。次に葬送墓制では、古代から中世を中心に宗教的観点に立脚して概説し、仏教色の有無についても考える。この授業では、上記した古代寺院と葬送墓制を通して、仏教関連の遺構や遺物を理解するとともに歴史的な位置付けも考えてゆくようにする。 本科目は、担当者が埋蔵文化財だけでなく、その他の分野（古文書・美術・民俗）との総合調査で得た経験を活かして、文化財に対する視点・視線を中心に講義を行う。	
8	文化財修復学	2	スクーリング	山内 章	1. 狩野山楽の板絵や、葛飾北斎著「絵本彩色通」を参考に、江戸時代初期から明治時代初期までの絵具と絵具固着材の膠について学習し、基礎的な絵具の使い方を実習する。 2. 板絵や社寺建造物彩色の剥落止め処置の変遷について学習し、基礎的な修復実習を行う。 3. 社寺建造物の調査と様々な修復方法（剥落止め・クリーニング・補彩・復原彩色・白線描模写・剥ぎ取り）をスライドで紹介し、修復の原則・修復工程と処置材料・保存修復報告書の作成等について学習する。 本科目では、担当者が文化財保存修復の実務経験と日本唯一の薬品類不使用の膠の製造実績を活かして、講義を行う。	
9	経営学基礎	2	スクーリング	倉 光巖	本科目では、担当者がものづくりの現場での永年の実務経験や企業経営に携わった知見を活かして、経営学の講義を行う。 授業において、経営学の基本的な考え方が、どのように生まれ進化してきたか、そしてそれらが実際にどのように使われているかを講義する。企業を取り巻く外部環境の変化が経営戦略および組織改革などの企業行動にどのようにつながっていくかも考えていく。	
10	臨床心理学	2	スクーリング	鈴木 孝	心理学の全体像について概説する。まず、臨床心理学の定義、成り立ち、主要な理論とアプローチ、自己理解について学ぶ。次に主要な精神障害や不適応の診断基準、生物学的背景、臨床心理学からの理解と支援について学ぶ。最後に、臨床心理の専門職としての業務内容、特に医療分野や教育分野などでの実践について概説する。また、公認心理師や臨床心理士の資格についても言及する。 本科目では、担当者が心理専門職として各種相談機関でアセスメントや相談面接に当たってきた知見をもとに、臨床心理学について講義を行う。	
	合計	22				